

かがやき

学校だより第 7 号

令和 3 年 10 月 29 日

草津市立山田小学校

☑ やさしく・・・人権を大切にす る いじめを許さない

☑ まけない・・・よく考 え ねばり強くやりぬく

☑ ダイナミック・・・たくましく力強く 生き活きとしている

多様性と LGBT

LGBT という言葉をご存じでしょうか。LGBT とは次の言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者を表す言葉の一つとして使われます。L はレズビアン(女性の同性愛者)、G はゲイ(男性の同性愛者)、B はバイセクシュアル(両性愛者)、T はトランスジェンダー(身体の性と心の性が一致しないため、身体の性に違和感を持つ人)のことを言います。

では、日本の性的少数者の割合はどれくらいでしょうか。およそ 11 人に 1 人(約 9%)とされています。これは、左利きの人の割合に近く、性的少数者は身近な存在であり、私たちが「気づいていないだけ」ということがわかります。にもかかわらず、少数派であるがために、日本では性的少数者に対する偏見や差別が後を絶ちません。

今までの学校だよりでお伝えしたように、これから先の社会は多様性を認める方向に進んでいます。そして、Ally(アライ)「同盟・仲間」であることを求めています。そこで、子どもたちには、性的少数者に対する正しい知識を持ってほしいと考えています。その最初のステップとして、これまで、わたしたちが何気なく使ってきた侮蔑的なニュアンスを含む言葉(レズ、ホモ、オカマなど)をあらため、正しい言葉(レズビアン、ゲイ、トランスジェンダーなど)を意識して使うようにしてほしいと思います。

わたしは、性的少数者だけでなく、誰もが「自分の居場所がある」ことを実感でき、多様性を認め合える社会に進んでいくことを願っています。

左利きであることが当たり前であるように、性的少数者であることが当たり前である社会になりますように。

校長 南 喜普